



Soeurs auxiliares
des âmes du purgatoire



援助修道会六甲修道院での Laudato Si の取り組み

少しでも環境汚染を防ぐため自分たち共同体ができる事はなにか

16年前、六甲修道院の庭（それ以前は児童館の幼児クラブの運動場で、水はけよく整備され子どもたちが走り回ったグラウンドだった）を、コンクリートで固めて人工的な庭にする案を取り止め、人の手によって耕される土の庭と畑にする夢を抱きました。

地球温暖化、異常気象、自然災害等から地球を守る一助につながるのではないかとの思いから、まずは保水力のある肥沃な土造りをはじめ、一日に1平方メートルの広さの石やがれきを取り出し、少しの土を残していく作業、そして1年から2年かけて耕せたところへ真砂土をいれ畑を造りました。そこへコンポストを設置し、わたしたちの台所の生ごみ、枯れ葉等で肥料を作り埋めながら土壌を肥やし、現在15年間続け、やっと野菜が実る畑になっています。



ゴミの削減と緑化への取り組み

この15年間、わたしたちは生ごみをごみ収集に出したことはありません。ごみを減らすことにも貢献し、庭はすべて肥沃な土に変わりました。今では幾らかの野菜が育って、わたしたちの食卓を賑わせています。



夏の高温の日照りを幾分かでも緩和するために、その庭に緑の葉を茂らせる野菜を植え、緑の葉を持つ木を植えて木陰を作り、涼しさと呼び込もうとしています。今となつてはこの六甲の一点の庭からわたしたちが傷つけてしまった地球をいとおしむことにつながる思いです。

汚染水をまったく流さないことはできませんが、少しでも水を汚さないために、また洗剤をたくさん使わずに洗うために、食事を使用した食器や調理鍋の汚れ、油類をボロ布で拭いてから洗うようにしています。

そうすることにより、汚染水を減らし川や海を汚さない生活を心がけ、入浴後の湯は再利用して庭に散水するなど、あらゆる面から節水に気を付けて過ごしています。



今後の目標

福島原発事故以来、電力に関しても生活の電力消費を減らすことに努め、可能な限り節電して生活をしています。今年で16年目、ささやかな努力ではありますが、地球の一点で、傷つけてしまった地球を再生させたい思いから地球に小さな絆創膏を貼ろうとしています。

